

(別記)

令和2年度甲州市地域農業再生協議会水田フル活用ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

甲州市は、平成17年11月1日、塩山市、東山梨郡勝沼町、東山梨郡大和村の3市町村の新設合併により誕生した。本市は甲府盆地の東部に位置し、北東側には秩父多摩甲斐国立公園の大菩薩連嶺をはじめとする秩父山系、東部にかけては笹子山系の山並みが連なる急峻な山岳地帯であり、重川、日川、笛吹川及びその支流によって形成された複合扇状地は広がっている。総面積は264km²、山梨県の総面積の5.9%にあたる地域で平坦部と山岳部の間の丘陵地帯は複合扇状地で展開するスロープで日当たりの良い東西傾斜南部は沖積層、北部は洪積層である。

耕地は標高350m～800mの間に開けており、気候は内陸型で年間平均降雨量は1085mm程度、降水日数は年平均133日前後、また年平均気温は15.0℃である。このような恵まれた自然条件を生かし、ブドウ、モモ、スモモ、サクランボ等を中心とした果樹栽培を展開している。

2 作物ごとの取組方針等

市内の約15.3ha（不作付地を含む）の水田について、適地適作を基本として、産地交付金を有効に活用しながら、作物生産の維持・拡大を図ることとする。

(1) 主食用米

当市の令和元年度の水田面積のうち水稲作付面積は5.4haで、市内における水稲作農家はほぼ自家飯米農家である。

(2) 非主食用米

ア 飼料用米

イ 米粉用米

ウ 新市場開拓用米

エ WCS用稲

オ 加工用米

カ 備蓄米

(3) 麦、大豆、飼料作物

(4) そば、なたね

(5) 高収益作物（園芸作物等）

「とまと」、「とうもろこし」、「さやいんげん」を振興品目として拡大する。

(6) 畑地化の推進

当市では果樹を地域特例産物としており、果樹交流都市として市の振興策にもなっているため転作を奨励していく。

3 作物ごとの作付予定面積

作物	前年度の作付面積 (ha)	当年度の作付予定面積 (ha)	2020年度の作付目標面積 (ha)
主食用米	8.0	7.9	7.9
飼料用米	0	0	0
米粉用米	0	0	0
新市場開拓用米	0	0	0
WCS用稲	0	0	0
加工用米	0	0	0
備蓄米	0	0	0
麦	0	0	0
大豆	0	0	0
飼料作物	0.09	0.09	0.09
そば	0	0	0
なたね	0	0	0
その他地域振興作物	3.8	3.6	3.8
野菜	1.2	1.2	1.2
果樹	2.6	2.4	2.6
その他豆類	0	0	0

4 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	用途名	目標	目標値	
				前年度（実績）	目標値
				(○年度)	(○年度)
				(○年度)	(○年度)

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

5 産地交付金の活用方法の明細

なし